

月月火水木金金

雨野 小夜美

げつげつかーすいもくきんきん

僕の理性は壊れてしまった
絵の具を顔に塗りたくった
生きることに休みはなく
ただ華やかに汚された顔

垂れてきたそいつをなめる
樹脂か何かの
僕の受け付けない味がした
僕は味なんか信じなかった

げつげつかーすいもく...
あとなんだっけ？
脳は倒れたって働き続ける
火の車 自転車操業

僕の理性は壊れてしまった
水を撒いて火をつけた
水に火はいつまでもつかなかった
両手に抱えてたのはなに

げつげつかーすいもくきんきん
休日なんてないんだ
明日も人間に出勤しなきゃ
真っ暗な場所で頭抱えてた

もういいよ
もういいよ

げつげつかーすい
あとなんだっけ...
脳が泣いても知らぬふり

小さすぎる ダメすぎる
火の車 国債 自転車操業

げつげつかーすいもくきんきん

布団になってしまいたい

一番一番 悲しいのは
布団じゃないかって思う
大事なご主人様を
夜中にいつも目覚めさせてしまう
悲しんでるのがわかる
怒りさえあるのかも
だって僕が眠れないとき
なんともいえない皺が寄るんだ
いっそのこと
いっそのこと
布団になってしまいたい
身体が同化して
頭がどうかして
だけど布団になれたからといって
やっぱり僕は悲しみを
感じてしまうだろう
まともに会話ができない
歩くのもおぼつかないご主人様を
あなたはいつも気にしている
可哀想なくらい
布団に皺が寄ってるのは
僕がこんなこと願ってるとき
明日なんて明後日なんて
あったって苦しいだけなのに
みんなそうやって励ますの
いっそのこと
いっそのこと
布団になってしまいたい
残念ながら
布団の悲しみなんて
僕の悲しみには遠く及ばないけれど
ああ ああ
みんな悲しいだろうけど
一番悲しいのは布団
ご主人様が 病んでゆくのを

その寝返りを受け止めているから

いっそのこと

いっそのこと

みかんの木ならどうだろう

切られても一瞬

痛みもなさそう

小鳥が食べてくれるだろう

いっそのこと

いっそのこと

布団になってしまいたい

身体はどうかして

脳は同化して

だけど僕は 布団になっても

悲しみを感じてしまうだろう

方形世界

正方形が僕の世界
長方形はこの世界
それ以外は ない ない ない

地球ってなんだろう
昔の人の嘘でしょう
丸い地球なんて存在しない
1600キロで勝手に
飛ばされてる

嘘だ

正方形が僕の世界
あんたの言う事信じてない
長方形がこの世界
それ以外は ない ない ない

緑の正方形
白に花柄の長方形
これが僕の生きる世界
花なんて見た事ない

触れる 幻覚

正方形が地球の姿
ガガーリンは病気だったんだ
長方形のこの世界
それ以外にない

見える聴こえる触れる
幻覚

正方形のこの世界

月月火水木金金

<http://p.booklog.jp/book/107070>

著者：雨野 小夜美

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tinycolor/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/107070>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/107070>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ